

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和2年4月13日

盛岡市議会議長

遠藤政幸様

議員氏名 鈴木俊祐



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和元年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支出	調査研究費	202,980 円	市政調査会台湾視察
	研修費	10,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	円	
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	40,800 円	新聞購読料
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	253,780 円	
差引残余 ①-②	346,220 円		

様式第5号

政務活動費出納簿

(令和元年度分)

(単位：円)

年月日	内容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳									
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	
31.4.10	政務活動費上半期分	200,000											
1.9.10	政務活動費上半期分(改選後)	100,000											
1.10.10	政務活動費下半期分	300,000											
1.11.15	市政調査会拠出金		10,000		10,000								
1.12.5	市政調査会台湾視察		202,980	202,980									
2.3.31	新聞購入代金		40,800							40,800			
	経費小計			202,980	10,000						40,800		
	合計額	600,000	253,780	差引残余額					346,220				

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R1. 12. 5	202,980 円	市政調査会台湾視察	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	202,980 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	資料購入費	支出日	令和1年12月5日
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	202,980	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	202,980	円

【支払概要】

市政調査会台湾視察

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 証

BC-00032203
発行日 2019/12/05

鈴木 俊祐 様

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

金額 ¥202,980.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、市政調査会視察旅費

現金 202,980 円

小切手

振込

クレジット

その他 ()

()



名鉄観光サービス株式会社

(本社所在地)

名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号

(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
	

BC-025822

市政調査会台湾花蓮視察旅費明細書

<支出>

項 目		単価	数量	金 額	備 考
旅行会社への事前支払分	JR (盛岡⇄東京) 乗車券・特急券	14,910	2	29,820	
	モノレール (浜松町⇄羽田空港)	500	2	1,000	
	航空運賃	57,000	1	57,000	
	現地空港諸税	1,900	1	1,900	
	国際観光旅客税	1,000	1	1,000	
	羽田空港施設利用料	2,540	1	2,540	
	燃油サーチャージ	7,600	1	7,600	
	宿泊費	11,000	4	44,000	
	朝食代	2,000	4	8,000	
	現地交通費	26,120	1	26,120	
	添乗員費用	10,000	1	10,000	
	通訳者経費	14,000	1	14,000	
	支払計				202,980

視察等概要書

議員氏名 鈴木俊祐

会派名	自由民主党(市政調査会)
実施日	令和元年11月22日～11月26日まで
参加者	別添の通り
視察先および調査項目	別添の通り
視察の概要および所感	<p>今日の視察では、取田山車による長年の交流が実を結ぶ。取田市と花蓮市が友好協定を結んだ。丁史的瞬間に立ち合う事が出来、これから、ますます観光や農業、教育などを通じた交流を推し進める事が出来るように取り組んでいかなければならないと思った。</p> <p>この友好協定によって、ますます台湾からの観光客が増加するようお願いしております。</p>
【添付資料】	別添報告書

【市政調査会台湾・花蓮市視察報告書】

<<日程>>

令和元年11月22日(金)～11月26日(火)

<<市政調査会>>

会長	天沼 久純議員	鈴木 俊祐議員
	高橋 重幸議員	菊田 隆議員
	竹田 浩久議員	藤澤 由麻議員
	櫻 裕子議員	浅沼 克人議員
	田山 俊悦議員	大石 仁雄議員
	小笠原秀夫議員	加藤 麻衣議員

【花蓮市の概要】

1. 沿革 花蓮市は台湾花蓮県の県轄市。花蓮県政府の所在地。日本統治時代の1920年に花蓮港支庁花蓮港街として再編され、1937年に郡制施行により花蓮港支庁花蓮郡に属する。1940年に市制施行により花蓮港市になる。戦後の1946年に花蓮市と改称されて現在に至っている。

2. 人口 約106千人

3. 位置 北緯23度58分 東経121度36分

東京(羽田)から首都台北まで飛行機で約3時間30分

台北から特急列車で約2時間

4. 気候 平均最高気温26.8度 最低気温20.7度 年間降水量2,157mm

5. 姉妹都市 蔚山広域市(韓国)、与那国町(沖縄県)、アルバカーキ(アメリカ)、

ペルビュー(アメリカ)、オウツフルン(南アフリカ共和国)

6. 友好都市 高千穂町(宮崎県)、サンタマリア(フィリピン)、サイパン市(アメリカ)

盛岡市

7. 主要産業・観光・政府関係

花蓮県、花蓮市の主要産業は、観光ならびに石材業。大理石の産地が近隣に所在する。

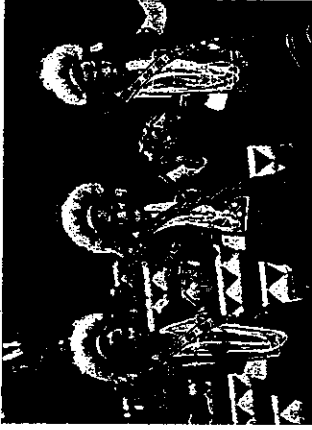
花蓮は、1622年にスペイン人が来航して砂金の採取を行った歴史がある。漢人が初めて入植したのは1851年であるが、当時は台湾東部への交通は海路に限られており、それは日本統治時代の1932年に臨海道路(現・蘇花公路)が開通するまで続いた。その当時は、多くの日本人移民がこの地に入植していた。1945年以降は中華民国により領有されて花蓮県が設置され、現在に至っている。

【花蓮市の主な観光スポット】

- 太魯閣渓谷(タロコ渓谷) … 花蓮郊外にある峡谷。山々がそびえる雄大な自然保護公園
- 阿美文化村 … 華やかな民族衣装をまとった原住民族「阿美族」の男女が踊りを披露する
- 東大門夜市 … 花蓮最大の夜市
- 七星潭(チーシンタン) … 東海岸に位置し、弧を描いた海岸線が優美
- 松園別館 … 旧日本軍により建造された、和洋折衷の瀟洒な建物



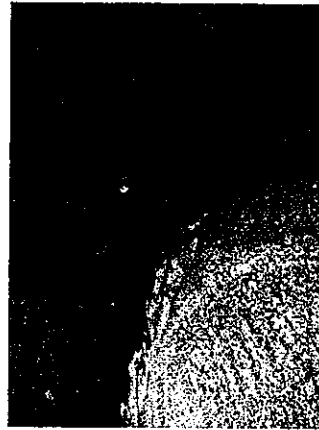
太魯閣渓谷の石礫と山肌



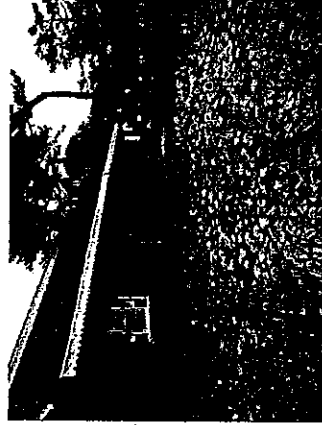
阿美文化村の舞踊



東大門国際夜市の賑わい



七星潭の海岸線



松園別館の日本家屋

【視察日程】

令和元年11月22日(金)～11月26日(火) 4泊5日

月日	時間	行程	
① 11/22 金	6:30	盛岡駅南口集合	
	7:10発 12:15	はやぶさ4号一東京駅乗りかえ羽田空港着 国際定期便にて台北松山空港へ 貸し切りバスで花蓮市へ移動	
② 11/23 土	20:00	花蓮縣歡迎レセプション	
	午前 14:00	〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル ホテルにて朝食 クコロ国立公園見学 花蓮縣警察視察訪問・意見交換会	
		夕方	盛岡山車パレード参加
		〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル ホテルにて朝食	
③ 11/24 日	11:30	友好交流都市盟約調印式	
	13:30	記念レセプション 花蓮縣副議長(劉進平)・副議長(曹正興)・議員(王國河・王國河)の視察	
④ 11/25 月		東大門夜市・太平洋花彩節参加 〈花蓮市内泊〉 パークビューホテル 台北市へ移動	
	13:30 14:30	台湾觀光協會訪問(市長官舎までの訪問)	
⑤ 11/26 火		市議會議員故宮博物館見学、夕食交流会 〈台北市内泊〉	
	朝	ホテルで朝食	
	午前 昼	ホテル発 国際定期便にて帰国 羽田空港着	
	16:33	盛岡駅着	

【11月22日(金)】

○花蓮縣政府主催歡迎レセプション

〈夕食会参加者〉

- 一 花蓮關係者—
花蓮縣長 徐棧蔚 氏
花蓮市長 魏嘉賢 氏
花蓮縣關係者他、多数
- 一 盛岡關係者—
盛岡市長 谷藤裕明 氏
盛岡市議會議長 遠藤政幸 氏
盛岡市議団 12名
盛岡山車推進會、盛岡市消防団、盛岡市コンベンション協会他、多数(約140名)

ホテル玄関での大歓迎

〈概要〉

台北の空港から花蓮市までバスで4時間以上かかり、開始は夜8時半を回っていた。閉会前に高校生によるパワフルな民族舞踊の披露。閉会后、まず花蓮県長から歓迎の挨拶があり、次に盛岡市長から御礼の挨拶。盛岡市議會議長からも御礼の挨拶。その後、台風19号被害に対して花蓮県からの盛岡市への御寄付と、花蓮県から盛岡市の各団体へ記念品の贈呈。盛岡市の各団体から花蓮県に記念品の贈呈後、乾杯の発声。盛岡市議団のテーブルには花蓮縣職員と観光關係者と通訳者が同席し、積極的に交流をした。閉会は夜11時頃となった。



花蓮縣關係者と意見交換



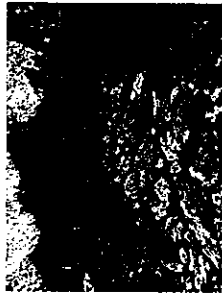
花蓮縣長を前に遠藤議長の挨拶

【11月23日(土)】

○タロコ国立公園見学

タロコ国立公園とは台湾の国立公園で、台湾中部に位置する花蓮県の山部にある。南北に約38km、東西に約41km、総面積は9万2000ヘクタールに及ぶ。まずは公園内にあるタロコ溪谷を見学した。この溪谷は台湾を代表する景勝地の一つ。花蓮県を流れる立霧溪(たつきりけい)という川が、1,000mを超える厚さの大理石を侵食し続けた結果、壮大なタロコ溪谷を生み出した。川には大小さまざまな大理石が転がっていたが、国立公園のため拾って持ち帰ることはできない。

タロコ溪谷の見どころの一つが燕子口(イエーンズ・コーウ)。岩の壁に開いた小さな穴を指す。昔の人が穴の近くでツバメがたくさん飛んでいるのを見て、この穴をツバメの巣と思つたことに由来する。燕子口の近くにはインディアン・ジョーンズの横顔に見える岩もあった。



タロコ溪谷上流



燕子口



インディアン・ジョーンズ

タロコ溪谷を見学後はレストラン「タロコ三月村」へ。レストランスタッフは全員タロコ族の方。甘くて黄色い芋が入ったご飯や、台湾タイの塩焼きなど、タロコ族の料理を振る舞っていた。レストランには先住民タロコ族に関する展示品がたくさんあった。印象的だったのは先住民の写真コーナーにあった「彩虹民族」という言葉。ガイドに聞くと、「山奥にいる民族ではなく、鮮やかな虹を一番近くで見ることができる民族」という意味とのこと。原住民の価値観に触れることができた。



タロコ族の料理



写真コーナー

○盛岡市主催観光プロモーション

<参加者>

- 一 花道関係者—
- 花道県長 徐榛蔚 氏
- マスコミ関係者他、多数
- 一 盛岡関係者—
- 盛岡市長 谷藤裕明 氏
- 盛岡市議会議員 遊藤致幸 氏
- 岩手中央農業協同組合長 浅沼清一 氏
- 盛岡市議団 12名、盛岡市職員他、多数

<概要>

はじめに谷藤市長が挨拶。台風19号の義援金に対するお礼などを述べた。その次に遊藤議長が挨拶し、その後花道県長の徐榛蔚氏より挨拶。「りんごは平安と言う意味がある。花道にりんごが来るということとは、平安がくるとのこと。花道市に盛岡のりんご平和が広がると思う。」と述べた。岩手中央農業協同組合長の浅沼清一氏が挨拶した後、浅沼氏から花道県長の徐榛蔚氏にりんごが入った箱が手渡された。



谷藤市長の挨拶



りんご贈呈

○花蓮県議会表敬訪問

<参加者>

- 一 花道関係者—
- 張峻花道県議長他 県議員多数、県職員等
- 一 盛岡関係者—
- 盛岡市議団 12名、市職員等

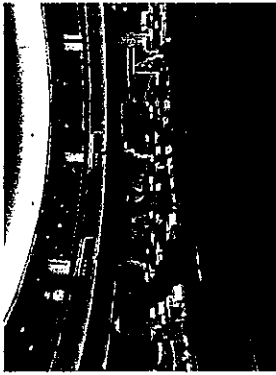
<概要>

花蓮県議会を表敬訪問。花蓮県には市議会がないため、県議会を訪問した。会議室に通された後は、花蓮県議会議員と盛岡市議会議員一人一人の名前を紹介。その後花蓮県議長から歓迎のご挨拶を頂き、遊藤議長も挨拶。プレゼントを交換し合った後は、議場や県議会の歴史資料館を見学した。議場の議員の

席には資料や私物等が置いてあった。ちなみに花連県議会議員の定数は33人で、そのうち13人が原住民、同じく13人が女性とのこと。改選して女性議員が増えたそう。



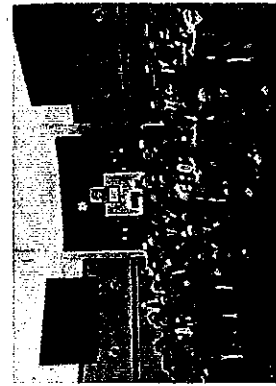
自己紹介タイム



会場



議員のアスク



議長席前にて集合写真

○盛岡山車パレード

<概要>

「2019 太平洋温泉花車フェスティバル」のメイン会場である東大門広場に花連県内外の多くの人々が集まった。45組の花車パレードチームの中で、通算4回目となる盛岡山車が最後尾で参加。パレードは、東大門広場をスタートし、中山路→中正道→花連文化創意産業パーク→中華路→中山路までの約4キロのコースを練り歩いた。その中で盛岡市の芸術文化のPRと共に花連市民との交流を行った。

<詳細>

午後5時のオープニングセレモニーでは、さんさ踊りや滑目獅子踊りが披露された。谷藤盛岡市長や花連県長のあいさつにより祭りの火ぶたは切られて落とされ、豪華絢爛な花車が次々にスタート。盛岡山車チームは大トリで、午後7時頃パレードを開始。台湾全土から集まった多くの観光客のほか、花連市民は、我々を熱烈に歓迎し、沿道からは大きな声援と、時にはハイタッチを受けながら、友好的な雰囲気の中パレードは進んでいった。

途中、雨が降り出してきて、山車にビニールシートをかけたが、参列者はびしょ濡れになりながら進ん

でいった。そのような中、花連の皆さんは雨が降っても入出が衰えることはなく、最後までパレードを盛り上げてくれた。

関覧席のある花連文化創意産業パーク付近では、大雨の中、谷藤盛岡市長、遠藤盛岡市議会議長、花連県長などが出迎え、音頭上げを披露し、パレードを締めくくった。

その後、スタート地点である東大門広場まで戻って閉会行事。最後は花火大会でフェスティバルの幕を閉じた。この時点で午後10時過ぎとなり、ホテルに戻り夕食をとったのは午後11時頃であった。



盛岡山車



花連県長と共にパレード

【11月24日(日)】

○友好交流都市盟約調印式

<参加者>

—花連関係者—

花連県長 徐統蔚 氏

花連市長 魏嘉賢 氏

花連市民代表、花連観光関係者、花連市職員他、多数

—盛岡関係者—

盛岡市長 谷藤裕明 氏

盛岡市議会議長 遠藤政幸 氏

盛岡市議員 12名

盛岡山車推進会、盛岡市消防団、盛岡市コンベンション協会、盛岡市職員他、多数

<概要>

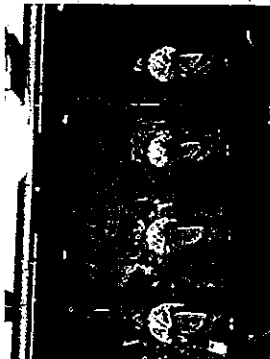
花連パークビューホテルにて、約120人の出席のもと、盛岡市と花連市の友好都市盟約調印式が行われた。はじめに、台湾ではおめでたい場が披露されるといふ大鼓のパフォーマンス、中華獅子の演奏が披露され、和やかな雰囲気の中、調印式は開会された。徐様中蔚花連県長の立会いのもと、谷藤裕明盛岡市長と魏嘉賢花連市長は交流協定の盟約書を取り交わし、これからの永永い友誼と交流を誓って固い握手をした。調印式の終了後は、会場を移し記念レセプションが行われた。レセプションでは盛岡さんさ踊りが披露され、ミスさんさ踊りとさんさ太鼓連の華麗な踊りが、おめでたい席に華を添えた。



盟約書の取り交わし



開印式会場にて集合写真



記念レセプションでさんざん語り披露

○花運視察（4か所）

①花運製糖廠（花運光復製糖工場）見学

<新渡戸稲造の功績>

台湾を領有した頃の日本は、砂糖消費量の大部分を輸入に頼っていた。そこで第4代台湾総督の児玉源太郎と民政長官の後藤新平は、植民政策の中心を産業振興に置き、その中心に糖業奨励を推進することにして、台湾に新式製糖会社を設立することを企画した。その立役者になったのが、新渡戸稲造である。新渡戸は台湾総督府の技師として赴任し、1900年12月に「台湾製糖株式会社」を設立するに至った。同社は、台南県橋仔頭庄に台湾最初の新式機械製糖工場を建設し、1902年1月に操業を開始した。台湾製糖の設立をきっかけとして1903年12月に塩水港製糖株式会社も設立された。

新渡戸の努力によって発展した台湾の製糖会社は、45年日本の敗戦によって大きく様変わりし、台湾における台湾製糖、塩水港製糖、大日本製糖、明治製糖の4社は、その資産を中華民国政府によって接収され、46年5月に合併されて台湾糖業公司として設立した。台湾糖業公司は50年代から60年代にか

けて、大量の砂糖製品を輸出し、大企業に成長した。台湾糖業公司は現在でも台湾最大の地主であり、農場を中心に台湾各地に広大な土地を所有している。通称「台糖」と呼ばれ、台湾における歴史ある企業として今も活動している。

この花運製糖廠には、「花糖博物館」という歴史館があるが、そこには新渡戸稲造の胸像が設置され、殖産興業の要として、台湾での製糖業振興に対する取り組みや、シュガー・トレインなどとともに、新渡戸の功績が顕彰されている。



歴史館入口



新渡戸稲造胸像前にて

<日本家屋が点在する宿泊エリア等>

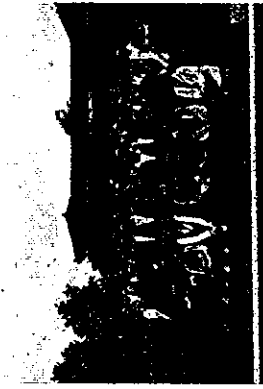
入口を入っていくと、整然と列をなした日本式建築が並んでいる。かつては職員用宿舎であったが、これにリノベーションを施し、2011年から「台糖花運旅館」として運営されている。

整然と並んだ大規模な木造建築群は、古きよき時代の和やかな雰囲気にも包まれている。内部は、まさに日本家屋であり、玄関、障子、ふすま、押入れ、畳部屋など、日本家屋の風合いそのものである。

このほか、遊園地、フードコート、お土産ショップなどがあるなど、全体として一大リラクゼーションエリアを形成している。



日本家屋の佇まい



日本家屋前にて集合写真

②舞鶴茶園公主珈琲

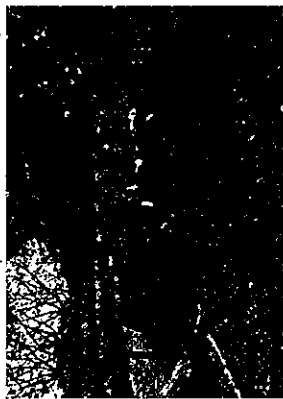
<コーヒー産業と茶業>

花蓮県政府の紹介による現地視察として、精糖工場跡からバスで30分程移動し、舞鶴茶園公主珈琲を訪問した。舞鶴は台湾の中でも有数のコーヒーの産地として知られている。その歴史は約100年前、日本の統治時代に、日本人によってコーヒー栽培が広められたこと。農園には100年前のコーヒーの古い木もあった。また、コーヒーの豆となる実を見せられた。少し苦みも感じる実をかじると、白くよく見る焙煎前のコーヒー豆を見る事が出来た。統治時代の台湾花運と日本、お互いの経緯を超えて、100年の歴史を感じた。

戦後はこの地域の気候等環境に適しているとのことで、茶葉栽培にも取り組んでおり、緑茶、烏龍茶の茶葉、さらに密香紅茶栽培にも取り組んだとのこと。この紅茶を試飲したが、甘さを感じる紅茶で台湾らしい紅茶であった。日本人にも合う紅茶で、盛岡で花運の物産展などが催された時には、ぜひ紹介したい一品であると感じた。



舞鶴茶園公主珈琲の建物入口



珈琲の木

③北回歸線標誌公園

舞鶴茶園の近くに北緯23.5度の北回歸線を示す大きな建物、そこから北側が亜熱帯、南側が熱帯とのこと、観光客が多く訪れる公園で、きれいに整備された。残念ながら時間も遅く、薄暗く、立寄る程度であったが、亜熱帯、熱帯との言葉や、台湾の位置、気候を感じさせられた。

④瑞穂春天酒店

台湾有数の瑞穂温泉区、そのホテルで夕食を取った。花蓮自体が台北を始めとした台湾のリゾート地であり、この温泉区はその中でも重要な観光資源であることを実感した。

【11月25日(月)】

○台湾観光協会訪問

<参加者>

一担当者一

秘書長 呉朝彦 氏

副秘書長 [] 氏

他、通訳者等

一盛岡関係者一

盛岡市議団 12名

他、通訳者等

<意見交換>

台湾観光協会にて意見交換



Q: 盛岡の冬はとて寒いですが、観光としてどうか。台湾で雪を見られるのか。

A: とて寒いならアウトドア等は難しいだろう。冬でも台湾でならアウトドアは体験できる。なお、3000mを越える山があり、雪は体験できる。

Q: TV番組に取り上げられると人気になる。ロケ誘致に力を入れたいが、どうか。

A: 愛媛県新居浜市では映画観光として、自然や食べ物台湾の映画館で宣伝。日本の地方都市は台湾観光局に積極的にPRしている。

Q: 台湾から日本への観光客と、日本から台湾への観光客の倍々というの教の差があるが、どの様に捉えているか。

A 台湾人2300万人中、1600万人が海外に旅行する。2018年は480万人が日本に行く。原因は、距離が近く、飛行機の便が多い。日本との歴史が深い。年配者は日本語ができる。日本は治安が良い。交通の便が良い。美味しい食べ物が多い。などが上げられる。一方、196万人が日本から台湾へ旅行しているが、1億2000万人の人口があるのもっとも人数を増やしたい。問題は、飛行機の座席が少ない。バスが1つの所有率が24%と低い。また、台湾が日本の観光を学ぶべきで、地方での観光への力の入れ方がまだまだ足りない。なお、八田與一など日本人の偉業として残されている遺跡があり、日本の学生がそれらを学習できる。

Q: 教育交流のように、若い時期の交流体験は有意義と思われるが、如何か。

A 実際、中学生が相互の都市を行ったり来たりしており、将来的に大きな効果があるだろう。友好都市となつて、教育交流で農業体験やスポーツ体験など可能性がある。

Q: 東京、京都のように盛岡が選ばれた観光地となるには。

A: 盛岡市への楽しいイメージを作ること。台湾にイベントが沢山あるが、美食展に出展するのもよい。貿易センタービルで、7月下旬から8月上旬まで開催し、36万人が集客できる。盛岡りんごの宣伝も大きな効果があるだろう。

Q: 台北で10月にLGBTパレードに17万人が集まった。それによる経済的な影響や観光面での効果は。

A: 今年、同性でも結婚できることになった。アジアで初めて立法化。このパレードは総合的効果があり、プラスとマイナスの効果がある。台湾が自由、平等で民主的な国であることを知らしめ、それにより台湾に行つてみたいと思わせるプラスの面がある。マイナスの面ではそういうことを受け入れない人いるということ。いずれにしろ、歴史的にヒューマンライツを重視しているのが台湾である。

○台北視察（3か所）

①中正紀念堂

蒋介石の業績を讃えるメモリアルホール。建物は花籃の大理石でできている。蒋介石の戦後における日本に対する姿勢や関わりは政治家として多くの示唆を与える。その偉大さを実感できる施設であった。

②忠烈祠

抗日戦争や辛亥革命(1911)などで殉死した英霊を祀る場所。勇壮な衛兵の交代式を見れば、国や故郷を守るため厳しい訓練を積み重ねている様子がうかがい知ることができる。

③故宮博物院

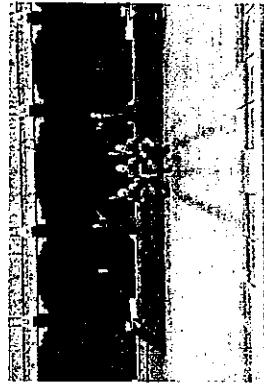
中国歴代の王朝が収集した多くの宝物を展示。台湾の歴史や文化から、台湾国民の価値観がよく分かる。また、花籃が世界的にも有数の石の産地であり、古い歴史を持つことを知った。また、歴史的に見てもものづくり産業全体の職人の技術力の高さに驚く。



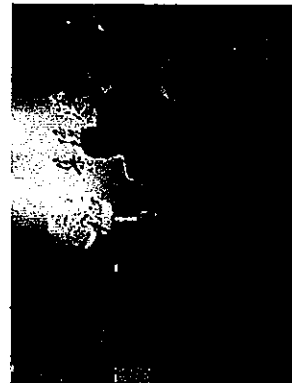
中正紀念堂



中正紀念堂で解説



忠烈祠での交代式



故宮博物院で解説

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R1. 11. 15	10,000 円	市政調査会抛出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	10,000 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	令和1年11月15日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	10,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	10,000	円

【支払概要】

市政調査会拠出金

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書

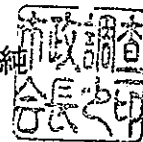
鈴木俊祐様

一金 10,000円 也

令和元年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

令和1年11月15日

盛岡市市政調査会 会長 天 沼 久 純



政務活動費支出簿

使途項目	資料購入費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R2. 3. 31	40,800 円	岩手日報購読料4～3月分	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	40,800 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	資料購入費	支出日	令和2年3月31日
支出証拠書類の額面金額		108,744	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		40,800	円
<p>【支払概要】</p> <p>新聞購読料 (3紙) のうち、岩手日報購読料を計上。 岩手日報：40,800円 (12ヶ月分) 読売新聞：40,800円 (12ヶ月分) 盛岡タイムス：27,144円 (12ヶ月分)</p>			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	

領 収 証 No. _____

鈴木以計設計事務所有限公司様 2020年3月31日

★ ¥40,800-

但 2019.4月～2020.3月分 新聞購読料 8%軽減税率対象

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 _____

消費税額等(.%) _____

(有)岩手日報北都販売所
 盛岡市長田町10-30
 電話 019-622-5536
 Fax 019-622-5575



領 収 証

鈴木 俊祐 様

No. _____

金額

40,800-

内訳

現金 _____

小切手

手形

但し 4/1(木)～4/3(日)迄
 2年 3月 3日 上記正に領収いたしました

取込印紙

消費税額等(%)

読売センター 盛岡緑が丘

所長 森 雄二

〒020-0102 盛岡市上田字東里石野83
 TEL 019(664)1522 FAX 019(664)1523

コクヨ ウケ-92

領 収 証

鈴木 俊祐 様

松園1-3-4

品 名	部 数	金 額
盛岡タイムス必 必は軽減税率8% (消費税2010) (平成31年4月分～令和2年3月分)		27,144

合計金額(円)
 27,144
 (税込)

2年 3月 3日

毎日新聞盛岡中央専売所

有限会社 毎日夫人 若林 茂雄
 盛岡市高松二丁目27-63
 TEL 664-1310



ご購入ありがとうございます。上記の金額領収致しました。領収金額には消費税が含まれています。